わくわく園庭日記

蒲幼稚園　　№6　R４,11,18

風に吹かれて木の葉が舞い落ちる様子に「わ～」と目を輝かせる子どもたち。いろいろな形や大きさの葉っぱを拾って見つけたよ、人の顔、魚のしっぽ、大判小判…。それまで何とも思わなかった落ち葉が、子どもたちの豊かな想像力によって大切な宝物になっていきます。ピョンピョンと落ち葉を踏みながら歩いて帰る姿もどこかほのぼのとかわいらしく、パリパリという音を楽しんでいるのかな？踏む感触を楽しんでいるのかな？先日、植え替えたトウカエデからは、カエルの手のような形の赤い葉っぱが落ちてきました。もうすぐ蒲幼稚園自慢のイチョウの葉も落ちてきますよ。現在、園庭は秋真っ盛りです！

相次ぐ子どもの転落事故を受けて…

遊びの中で感じる“怖い”という感覚

ここ最近、立て続けに起きている高層マンションからの子どもの転落死。過ごしやすい季節になり、ベランダで過ごしたり、窓を開けて風を取り込む機会が増えたり、ベランダに足場となる物が置いてあったりなど、その要因となる条件はいくつかあったかもしれませんが、私たちとしては子どもに備わっているはずの「怖い」という感覚が欠如していくことの恐ろしさを感じました。７月に行った『夢』講演会に参加された方の中には、木村先生のお話を思い出された方もいらっしゃるのではないでしょうか？今回は、子どもが遊びを通して身につけていく大事な力の一つについて考えてみたいと思います。

７月の木村先生のお話より

子どもは遊びの中で挑戦し、失敗から立ち直る経験をしたり、「できた」という達成感を味わったり、「自分は大丈夫」という自己肯定感を高めたり、生きるために必要なたくさんの力を培っていることが分かる。最近、高層マンションから子どもが転落死する事故が増えた。この背景には、子どもの高いところに対する「怖い」という感覚が薄れている状況が見受けられる。子どもが「怖い」と感じることは、自らの命を守るために重要な感覚であり、遊びを通して研ぎ澄まされていくものなのである。

大事なのは、実体験で学ぶこと

バーチャルの世界では、簡単にできることも実際にやってみると難しかったり、思い通りにできなかったり、怖かったりするものです。そして、無鉄砲にやってしまったら、大怪我をするどころか、命をも落としかねません。さらにドキッとしたり、ヒヤッとしたり実際に味わった恐怖からの立ち直りには、相当なエネルギーと時間も必要でしょう。感覚として様々なことを学んでいる子どもたちにとって、「楽しい」「面白い」「嬉しい」という感情に加えて、「怖い」という感覚を味わうことも重要だと思っています。「私はやめておこう」これも大事な判断です。バーチャルの世界とは切り離せない世の中だからこそ、幼児期に体も頭も心も動かして遊ぶ経験を十分に積んでいきたいと思っています。

園庭での安全対策について

どんなに注意を払っていても、人間はミスを犯します。園庭で遊ぶ子どもたちも人間です。だから、失敗もします。「あ～怖かった～」「痛かった～」で済まされるよう、安全対策には配慮していきます。高さのある遊具の周りに砂を多く敷いたことも対策の一つです。これからも園庭プロジェクトでは『失敗が許される環境作り』を目指して取り組んでいきます。

幼児期にしっかりと遊び込むことが世界平和につながる!?

空き箱やブロックで剣や銃などの武器を作り、他人に向けて戦いを挑んでいく姿を多く見かけます。TV やゲームのヒーローになりきり、それを再現して楽しんでいることはわかりますが、他人に武器を向けるという状況を理解しての遊びなのだろうか？と疑問も抱きます。実際に戦争が起きている世の中を生きている子どもたちに、不安定で先が見通せない未来を生きていく子どもたちに、今私たちが伝えなくてはならないことは何だろう？と考えるのです。遊びの中で“怖さ”や“痛み”を味わった子は、武器を持って他人と戦うことは望まないと思いませんか？大袈裟かもしれませんが、子ども時代にしっかりと遊び込むことは平和な社会を作り出すためにも必要ではないかと思う今日この頃です。

12月園庭プロジェクトへの参加希望者が集まりました！

今回は 28 家族子どもを含む総勢 90 名の参加希望がありました。すっかり顔なじみなったご家族に加えて、初めて参加してくださる方も多く、回を追うごとに参加人数が増えていく状況に、私たちはこの上ない喜びを感じています。保護者の方と一緒に子どもの遊びについてじっくりと考えたり、たわいもないおしゃべりを通じてそれぞれの交流を深めたり、活動を通して新たな気づきや出会いも生まれることでしょう。何より子どもたちが生き生きと遊ぶ姿を間近で見られることは、参加する皆さんにとって貴重な経験になると思います。**みんなで楽しく過ごしましょう、また、おたよりします！**